

# 療券の交付

市高齢福祉課  
遠藤 綾

吹き抜ける風がなんとも心地よく感じる季節となりました。装いも軽くなり、外へ出掛けるのが楽しくなる時期です。

さて、みなさんは療券(通称：マッサージ券)をご存知ですか？平塚市では、74歳以上の方を対象に、指圧やマッサージの療助成券を年間で10枚交付しています。「介護で疲れた肩や腰の凝りを解消したい」「健康増進のために使いたい」という方が多いようです。今年度は、四月一日から交付しています。高齢福祉課の窓口にご本人の年齢が確

認できる保険証などの身分証明書をお持ちください。代理の方でも、券を使う方の保険証などをお持ちいただければ交付手続きができます。詳しくは、高齢福祉課までお気軽にお問い合わせてください。

## 犬の気持ち

片山美智子



我が家の愛犬サン太はコーギー犬の雄犬で十歳になる。雌犬は好きだが、雄犬は大嫌い。しかし去勢している雄犬は、雌犬以上に大好きだ。散歩中、犬とすれ違う時は注意が必要だ。去勢していない雄犬が近寄ってこようものなら途端に鼻にしわを寄せてうな

り声をあげる。お隣で飼っていた雄犬は去勢していなかつたので二匹は顔を合わせればうなりあつていた。しかし、顔が見えなければ、厚さ十センチほどのブロック塀をはさんでお互い一メートルも離れていないところで昼寝をしていて、おかしかった。そんなお隣の犬が十四歳の生涯を終えた。家族に愛され、幸せな一生だったし、最後まで家族に見守られ、静かに旅立った。お隣が犬を火葬している時、散歩の帰りで通りかかったサン太は、まるで慰めるかのように、お隣の家族一人一人に近寄っていった。あんなに仲が悪かつたのに、飼い主家族の悲しみは感じとつたのだろう。

私たち人間は、犬から本当に多くの癒しを貰っていると思つた。

## 手作り水道管尺八



照井 誠

物好きな私が、またひとつ趣味が増えた。尺八だ。といっても塩ビ管(水道管)の手作り偽尺八だ。しかし、馬鹿には出来ない。名人が吹けばなかなかどうして尺八独特の素晴らしい音色を楽しめる優れものです。なんでもやってみたい、熱しやすく冷めやすい性格なのでどこまで続くか分かりません。ちよつとやってみて少し手ごわいと諦めてしまつても、この激しい人生に生存競争の出来ない人ですなんてものではあります。始めることが出来ました(笑) 鳴らそうと思つて無理な力を入れるとかえつて鳴らない。音が出たらそれを育てていく

## 春爛漫



二宮やよい

つもりで根気よく気楽に吹くように言われた。初めは無駄な力ばかり入れるので息が切れたり、目がくらんだりする。とにかく、余暇を利用してやることです。から長時間は続けられません。毎日少しづつ脳トレーニング、リハビリのつもりでやっている。

四季の中で最も明るい日本を演出する満開の桜にピタリ照準をあわせたような四月五日、友人御夫妻の案内で、二度目の裏高尾へ。高尾山の駅前には、少年のようにはいしやいだ大勢の中高年達が印象的でしたが、私達は殆ど人のいない道を、のんびりとスミ

レを探しながら、又、珍しい花達の名前の由来に感慨しつつ山の中へ。

そこは日影沢という通りの山の谷間で、清流の音に誘われて歩いてみると、木々の根元にまっ白い可憐な二輪草が、ニコニコ迎えてくれていた。まるで猫の目のようにギラギラとこちらを見て咲いているのは「猫の目草」。ライメラン屋さんのチャルメラの形のラッパが、ねじれながらついている「小チャルメラ草」。青々と柔らかく美味しそうな葉ながらこれを食べるとどこまでも走り出すという「走りどころ」。しかし、十種類近いスミレを区別するのは難しく、記憶力と洞察力のなさに愕然とするが、日常を忘れ爽快な時間をもてた幸福を噛みしめた一日でした。

# あしたば

発行所 富士見地区社会福祉協議会  
 事務局 平塚市豊原町 18-13  
 電話 0463-32-3736  
 編集 支援事業部

この「あしたば」は、高齢で  
 独居の方。在宅介護を要する  
 方とその介護者。90歳以上  
 の方に、5月、9月、1月  
 発行します。

五月



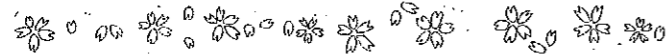
箱

## 八方塞 (はっぼうふさがり)

2月6日、日課の花水川土手の早朝散歩で転倒。原因不明の右足躓きで左足の膝を強打、不審な思いで帰宅した。間もなく腫れて激痛、午後になり整骨院に。半月板損傷となり、来院の遅延を叱られ3日ほど痛みが続いた。月初め出産予定の3人目の孫が誕生なら、上2人を預かり、伊勢原まで幼稚園の送り迎えを約束していたが、9日に生まれ、かみさんに『このっ役立たずっ』と罵られ、痛みと気持ちを堪え、沈黙だった。2月24日で小生72歳。生意気に誕生日ゴルフ、痛みの残る足で然もその日は、くそ寒い日で案の定、天誅が下され風邪となり3月末頃まで続く。3月20日、孫の初宮詣りで平塚八幡宮の控え室に「今年の八方塞」の掲示の中に「昭和十二年生まれ七十二歳丑年」があった。桜の満開の下でしみじみと2月、3月を回想しております。

富士見地区社協会長

大町 功



### ☆みのり会給食会 (おひとりぐらしの方を対象)

5月6日 (水) } 午前11時30分より  
 6月3日 (水) } 富士見公民館 1階和室  
 7月1日 (水)

### ☆第3回交流ふれあいサロン

9月2日 (水) 午前10時より 富士見公民館



母の日

定額給付金のお知らせが平塚市役所行政総務課より届きました。その中に「振り込め詐欺」や「個人情報の搾取」に御注意下さい。と書かれています。絶対にだまされないようにしましょう。

## 愛鳥週間 カラスは今!



上野静子

五月十日から「愛鳥週間」が始まる。近頃、公園や水辺の緑が整備され、ウグイス、メジロ、シジュウカラ等の小鳥を意外と身近で見かける。我が家の庭にもシジュウカラらしき鳥が飛んできた。ところで、町なかで見かける鳥といえど、スズメが思い浮かぶ。駅前広場ではハトかな?しかし、今はカラスの方が目立つような気がする。電線どころか私達のすぐ近くで同じ視線でじつと見ている。先日ゴミ出しに行った時カラスがいた。カラスに声をかけてみた。「あーささいで!」でもだめだった。さまざまカラスによる被害が出ている。カラス

## 桜の頃のこと



松屋友子

は頭がよく、有効な対策は難しい。町のなかにカラスが増えたのは郊外の開発が進み、彼らの居場所がなくなったから。適応力のあるカラスは町で居場所を見つけて暮らしている。「愛鳥週間」とは縁遠い雰囲気の小鳥。被害の要因を作っているのは私達と思うと複雑な気がする。今年のは、開花宣言の後、肌寒く、満開までの日数が長かった。四月八日、みのり会は七国荘へ。桜はこれぞ満開。お部屋には春の光がふりそそぎ、テーブルには給食部の方々が用意されたお弁当、みそ汁、デザート。

トなど。「おいしかった」「楽しかった」と、皆さん、にこやかにいらっしやいますか?三月二十九日、隅田川のお花見。桜は二、三分咲き。「満開を予想していたのですが」と、幹事さんの挨拶。屋形船に乗り、コートを脱いで気がついた。夫の恩師とお仲間との集いなので、とっておきのネックレスをしていただいたのに「ない!」。並べられるごちそうを前に平静を装い話を交わしているが、頭の中は「ネックレス」。どこではずれたのか、全く見当がつかなかった。翌朝、JR忘れ物係に電話をしてみた。「そのような物が東京駅に届いていますよ。」なんと、いう奇跡。私の強運。いえ、届けて下さった方は、どなたかわかりませんが、ただただ心より感謝申しあげております。